



(株)萩原代表 萩原立己(はぎはら りつき)氏

経営概要

- ◆代表者、所在地
代表 萩原 立己、山口県長門市
- ◆設立年
令和5年3月
- ◆経営規模
水稻 52ha、樹苗 0.4ha
- ◆従業員数
役員2名、正社員3名、パート・アルバイト5名
- ◆事業内容
水稻と樹苗生産を組み合わせ、周年作業体系を確立。
地域の農地を集約し、家族労働力を主とした大規模経営に取り組む。

1 現状及び相談内容

萩原立己氏は高齢化が進む中山間地域の農地の受け手として稲作と林業（樹苗生産）を組み合わせた経営規模の拡大に取り組んできた。

近年、急速に経営規模が拡大しており、新たな人材確保を進めるため法人化に取り組むこととしたものの、**法人化に伴う社会保険料の負担や資産の継承等**に不安があった。

2 支援内容

山口県長門普及指導センターが山口県農業経営・就農支援センターと連携し、**法人化後の社会保険料の負担額の試算や法人化に伴う個人資産の継承方法等について助言**を実施した。

また、人材確保と定着に向け、**就業規則の策定、労務環境の改善などに関する助言**を実施した。

3 人材の確保・育成に資する取組

★水稻と林業（樹苗生産）を通じた周年雇用体制を確立を図るとともに、今後の若者雇用に向けた就業規則の整備を図った。

■周年雇用体制の確立

春～秋には**役員・正社員を中心とした大規模稲作経営52ha**に取り組むとともに、冬季には、パート・アルバイトを活用し、販売価格が安定している**林業（樹苗）0.4ha**に取り組んでおり、**周年雇用の体制の確立**を図っている。

■法人化を契機とした若い人材の雇用検討

経営規模が拡大してきたため、**今後、新たな若い人材を雇用することが必要と考え、家族経営の株式会社化**を図った。

法人化に際して社会保険料の負担増等の懸念があったが、専門家の派遣を受け、**家族経営時と法人化後の社会保険料の比較や個人経営資産の継承方法等について助言**を受け、課題の解消が図られた。

■人材の定着に向けた労務環境改善

今後の若い人材の雇用に向け、**雇用契約書や就業規則の整備が必要**となったため、専門家の派遣を受け、就業規則等の整備を進めている。

今後、更なる規模拡大が想定されるため、一層の雇用体制の整備を進めたい。



(株)萩原の管理圃場と法人代表

今後の意気込み

今後も管理を依頼される農地は増加すると思われる。早めに若い人材を雇用し、育成することで、今後の規模拡大や将来的な経営継承につなげたい。

専属スタッフ所感

法人化に際しての経営課題の解決を支援でき、スムーズな法人化が図られた、今後就業体制の整備を図り、規模拡大と併せた一層の経営発展が期待される。